

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2010.4
200

新入社員の諸君へ

入社おめでとうございます。

新しい門出とともに、これからの人生を仕事を
通して一緒に働き苦楽を共にする仲間になっ
たわけです。

二の出会いも

「人間一生会うべき人に会える

一瞬早すぎず。

一瞬遅すぎず。」 森信三先生（

まさに運命だと言っています。

だからこの運命を生かすには与えられた仕
事を一所懸命やることです。そして上司や同
僚がうなずくくらい感動するくらいやることで
す。難しい事はすべてはできません。

「ここでやるという事は簡単なことです。一所
懸命やるからこそまわりは感動するわけです。
その後は次のステージが必ず貴方を待っていま
す。そして貴方はイナテックという仕事を通し
て成長するのです。

鉄は熱いうちに打て！

まさしく新入社員の諸君は「学生」という
垢を落とし社会人としての自覚を持つ事が
大切です。

イナテックでは、会議の前に全員が『起立』
をして挨拶させていただいてから事を始め、
終わった時も『ありがとうございました』で
締めます。

やはり空気も気合も確かに変わります。イ
ナテックの企業理念の中に出てくる『あいさ
つ』『履物を揃える』など森信三先生が人間
教育としての礎を説明されたものを紹介さ
せていただきます。

躰は三つだけ徹底すれば良い

「躰の三か条」

第一、朝必ず親にあいさつをする子にする
こと

第二、親に呼ばれたら必ず「ハイ」とはっ
きり返事のできる子にすること

第三、履物を脱いだら必ず揃え、席を立つ
たらイスを入れる子にすること

朝の挨拶によって前向きな姿勢が、「ハ
イ」という返事で素直さが養われます。

履物を揃え、イスを入れる習慣を身につけ
ることで、人生でも仕事でも大切な後始末の
しっかりできる子になる。

これらの習慣は家庭ばかりでなく、あらゆる
場で率先して取り組むべき人間としての
基本です。

会社においても、社員同士が互いに挨拶
も交わさない職場は先が見えているという
ものです。

そして人間として大事なことのひとつとし
て、森信三先生は「いったん決心したら例え
石にかじりついてもちやり抜く人間になるこ

と」を挙げられております。

その秘訣は常に腰骨を立てる人間になるということなのです。

腰骨が立っておらず姿勢が悪くなっているとやる気はわいてきません。元氣・根性・粘り強さといったものは腰骨を立てる事によって養われるのです。つまり、人間の性格の土台になるのです。

これらの事、イナテック企業理念講話に出ているものばかりです。やはり間違っていないませんでした。

イナテックの社員として素直に受け入れイナテックの繁栄、ひいてはは国の繁栄の礎ができれば幸いです。

靴を磨く

私は靴を磨く事が好きで靴の修理屋さんにもよく行きます。アイシンの故豊田稔会長様が私共に御指導くださった中に、男(経営者)は靴を大切にしなさい。特に踵はよく減るものです。だから手入れをし気ついたら踵の修理をする事が大切です」と教えていただいた事があり

ます。

確かに「足元で人の様が見えてくるような気がします。(入社式では新入社員の靴はピカピカ、幹部社員の靴はグチャグチャでした。)

致知に寄稿された靴磨き職人』のお話も参考になります。

靴を磨き、自己を磨く

靴磨き職人 長谷川裕也
私は昔から「日本の足元に革命を」と言い続けてきました。

身につけるものの中で一番汚れる靴をきれいにするといいことは、人生においても非常に重要なポイントである。

きれいな靴を履くと、ぶついたりしないようにしようとか、またきれいな靴を履くと洋服もきれいにしようとか、つまり足元を変えたらその人の姿勢や風格まで変わっていくのです。

私の店には靴を磨き、自己も磨く、靴に輝きを与え、人生にも輝きを」と書いてあります。つまり靴を磨くことで自分を磨いているのです。

フランクに「素敵な靴は、素敵な場所に導かれる」といつ諺があります。